

宇美町



(2017年広報5月号)

県では、地球温暖化防止を県民運動として全県を挙げて推進しております。中でも、廃棄物を減らして処分にかかるエネルギー削減を図るのが、3R運動です。これは、リデュース（ごみの抑制）・リユース（再使用、使い続ける）・リサイクル（素材などの再利用・再資源化）の頭文字をとって3R運動と呼んでいます。簡潔にいうと、限りある地球資源を有効活用し、環境と経済が両立できる循環型社会を形成していくための運動です。過去の大量生産・大量消費・大量廃棄型のような社会では、環境問題の改善はとも望めません。

このままでは、この先、地球規模で大変なことになる！と考える人はたくさんいて、その中の一人にアフリカ人女性として初めてノーベル平和賞を受賞されたワンガリ・マータイさんがいます。この方は、2005年2月に10日間ほど来日されていたときも「もったいない」という日本語に大変感銘を受けられ、先述の3Rにリスペクト（尊敬）を加えて、「MOTTAINAI I」を環境問題改善のための共通語として世界中に広められました。日本から帰られた後は、普段から書類の持ち運びに「FURUSHIKI」を使われていたそうです。また、国連の国際

会議の席上をはじめとして数多くの名言を残され、昨年来日されたウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカさんのお話の中に「少ししか持っていない事が貧しいのではない。限りなく多くを必要とし、もっとももっと欲しがる心が貧しいのだ」とあります。

第2次世界大戦後、驚異的な発展を成し遂げた日本ですが、現在を生きる私たちが「MOTTAINAI」の気持ち忘れず、環境改善を心がけた生活をしていかなければ、本当にこのまま50年後・100年後には地球上に生息する多くの生物（仲間たち）を失うことになります。



文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆

